

広報



ごじようめ

発行所 秋田県五城目町役場 編集 秘書課 電話(018876)代 2100番
印刷所 湖 東 印刷 所 電話(018876) 2430番 一部 5円
郵便番号 018-17 毎月 1日・15日発行

キャンプ場使用受付

昨年度完成した森山森林公園のキャンプ用バンガローは、去る七月二十七日～二十九日スポーツ少年団のキャンプを皮切りに、いよいよ一般の希望者にも貸付をすることになった。

・申込先 五城目町役場産業課
・施設の使用料 (一日につき)
① キャンプ用テント (四人用) 四百円

② バンガロー (三坪) 八百円

③ その他炊事場、炊飯器、ガスコンロ無料貸付、但しガス代は別途徴収、清掃には責任をもつこと
・使用許可の申請
バンガローなど使用したい方は使用許可申請書を提出し、施設使用許可証、領収書の交付を受けること。

よみがえったひとみの輝き
町内のスポーツ少年団は、去る七月二十七日から二十九日まで、森山森林公園の中でキャンプをした。

当初の参加予定者は八十名であったが、各種体育行事とかちあつて四十一名の参加となった。八棟のバンガローに分散した各班は、何事も協同作業である。食事の準備、清掃作業、運搬作業、ファイヤーの準備などきびきびと一生懸命である。

五、六年生が主体であったが日頃学習に追われて遊びはうける時間が少ないためか、キャンプ場では子ども特有の好奇に満ちたひとみの輝きがよみがえっていた。

キャンプは協同生活あるのみ

違う学校どうしでも一泊するとグット親しみが湧き、二日目にはそれぞれアダムと呼び合う程になる。また人気者も出てくる。それが心のきずなとなり、小社会の構成が出来る。学校や家庭とはまた一味違うキャンプ生活は、一人のわがままは許されなく、協同生活あるのみである。子どもたちから遊びをうばっておきながらの教育論が横行し

スポ少キャンプ

子どもにたくましさ

利用してほしい森山キャンプ場

備した広々とした炊事場、そして小運動が楽しめる広場、その内容はいたれりつくせりで、県内でも屈指のキャンプ場として誇るに足るものがある。

町内の子ども会はもちろん、成年のみなさんもこの施設をフルに利用しながら、子どもにはたくましさ、大人はコミュニケーションを育てる場としていただきたい。

利用してほしいキャンプ場

濃い緑にかこまれたこのキャンプ場は、森林総合利用事業でとりあげたものだが、完成したばかりの十棟のバンガローに、設備が完

ているが、キャンプを通してみる限りでは、遊びが子どもの成長にとっていかに自然な姿であるかが教ええられる。

彼らは朝起きると、森山の頂上をめざす。三十分も登ると眼下に朝まだきめやらの山が、山なみがひらける。朝食に特別な料理はないが、運動したあとのおいしさはまた格別である。日中はジリジリと照りつける太陽のもとで汗を流し、暑さに耐えレクリエーションに興ずる。野性味のあるたくましさを感じられる。



キャンプファイヤーを囲みながらお互いの友情を誓うスポ少団員

△広報サロン▽
助け合う人の姿に感銘
富津内西婦人会
会長 大石レイ



去る七月七日富津内農協婦人部と東西婦人会は、合同で鳥海コロニーを研修視察をした。

ご承知のようにこのコロニーは身心障害者の機能回復と社会復帰をめざして設けられたものであるが、秋田富士とも言われる鳥海のもとも西目町にある。深い緑に包まれた環境や設備はすばらしいものであった。仕事はその人の性格や能力に応じたものを担当していたが、畑仕事にいそしむ人、鉢物作りに熱中する人、軍手編みに余念のない人それぞれでしたが、特に軍手の指先を縫針する手ぎわのよさは、心身に障害のある人とはとても思えなかった。一同ただただ感心してきいた。

仕事に対する報酬はもち論あるが、貯金の楽しみな人、ボーイフレンドと会うのを楽しみにしている人、誰かがねすることもなく生活を楽しんでいる人、人々だけに他事ながらホット心が洗われる思いであった。この施設に働く職員の苦労はまた、私たちの想像を越えることばかりで、健康な人と障害のある人と助け合う姿の尊厳とを痛感して来たし、私たち健康人同志はもっと助けあって社会を良くするために頑張らなくては、この思いを深くした。

ただ、福祉バスの都合で、鳥海ふとこにいらながら、頂上を極める事ができなかったのが心残り、帰りの車の中で誰一人このことに触れただけにその気持が返って痛恨の極みだ。返って痛恨の極みだ。

第十四回 農近ゼミ大会

千人の若者明日の農業語る

広域体育館を会場に

千人の若者農業を語る

去る七月十六日午前十時三十分から、第十四回秋田県農業近代化ゼミナル大会が若者一千人の参加を得て広域体育館を第一会場に行われた。

式典は小畑知事と伊藤県連会長のあいさつ、加賀谷町長歓迎のことばなどのあと、青年農業士、経営農業士、それぞれ七名に、また十二名の指導農業士に認定証書を交付した。

石崎の加藤満郎氏は本町唯一の受託者で水稲プラスナメコ栽培の経営が高く評価され、経営農業士の認定対象となった。

引続き十四の優秀グループを表彰したが、本町からは佐藤与志美君らの園芸グループが表彰されている。

農近ゼミ会員同志で結婚された十九組の若夫婦には、小畑知事から記念品、会員からはレイの贈り物などがあり、その前途をあらためて祝福されていた。

本町関係は、館越の本間重春、松子夫妻、上樋口の島井幸雄、孝子夫妻の二組であった。

農業で食えるか、熱心に討議

式典終了後、「農業で食えるか」食える農業を実現するために、をテーマに、パネル討議をした。

熱心な討議は予定された一時間の十分が短かく感じられるほどで、明日の農業を担う若者たちの熱気が会場で包んだ。

午後二時五十分からは、移動学習に入り、男鹿、南秋九カ市町村に分散して民泊しながら、農作業や家族との話し合いをする、一泊体験実習をした。

十七日は、全員寒風山に集合して、ゼミナルフェスティバルを楽しみ、二日間の日程を終了した。



知事から経営農業士の認定証書を受ける加藤さん夫妻

く食糧が不足しており、特に毎日の生活に欠かせない、ライ麦、小麦は九六%の輸入をまわっている現状である。秋田県は日本の食糧基地として各種の対策を推進してきているが、その中核になるものが集落農場化事業である。全農家の三〇%がこの事業に参加している。このおかげで、出かせぎが二千人も解消されている。

集落農場化方式に政府も注目

政府もまたこの秋田方式の集落

農場化に着目して、地域農政特別対策事業をはじめた。これは非常に大型な集落農場化事業で、一事業費八千万円、この二分の一を国から補助するが、農林省はこの事業実施に当り

これは秋田県を本手にしてやるのだから秋田県の都合のよいように使ってくれと言われているので、私も大いに役立てようと思っている。

二年三作を進めたい

しかし、集落農場化にもたぐさんの問題がある。その一つは、複合経営をもつと取り入れること、二年三作を取る方法、それは、米に大豆飼料作物、そ菜など組み合わせる

秋田県知事のあいさつ

食糧不足は

火をみるより明らか

今世界の人口は、毎日秋田市の人口位増え続けているので、世界の食糧不足は火を見るより明らかである。その中でわが日本は、余っておるのは米だけで、ことごと

地改良をすること。

二つには、米と飼料作物、米と大豆など付体系の確立である。

第三には、米以外の価格補償の解決をはからなければならぬ。雄物川町のあるグループでは昨年から始めている。その実績は十アルル当り二十万円を上げており、米の倍の収穫を得ている。

二つのお願い

究極は人の問題である。その意味で、この農業近代化ゼミナルの果たす役割は貴重存在であり、秋田県の農業が強く限りこのゼミナルは続くことであり、私は諸君にあらためて二つのお願いをしたい。

その一、農業に満ちたる自信と誇りをもって、国民の主食を生産してほしい。世の中にこんなに尊い職業はございません、またこんなに未来の可能性をもった職業はないのである。従って、第三者の批判に左右されることなく、自分自身で農業に内在する問題を発見して、その解決に向って慎重な努力と活動の中から、新しい農業を切り拓くパイオニア精神を堅持せられたい。

その二、農業は所せぬ自然環境に左右されることが大きい。従って自分一人で経営を拡大することは困難であり、近辺の同志とお互に十分話し合って、手を取り合って協同の力でこれを改革し、社会的な協調性をどこまでも堅持してほしい。

無料人権相談所開設

日時八月十一日午前十時～午後三時

場所Ⅱ内川児童館

相談する人

法務局人権よう課職員、地元人権よう護委員

どなたでも気軽においでください

県内の農業青年の祭典、県農業近代化ゼミナル大会「農業県秋田を担う若人の集い」が去る七月十六～十七日の二日間の日程で五城目町広域体育館を主会場として行なわれた。



ともに築く 未来の農業

農業近代化ゼミナル

会長 佐藤与志美

名余りが参加。南秋田郡内各町村男鹿市などに、グループ別に移動した。ゼミ会員宅に宿泊しながら経営内容、農作業実習を体験した。土に生きる農業青年として農業に希望と愛情をもちながら、激動する社会の中で、他産業とのかく差をなくし、農業生産にたゆまない創意と工夫をこらすことは、近い将来に

気あるゼミナルとして動んでいきたいので、農業に従事している方、農業に関心をいだいている十八～二十五歳までの青年を歓迎する。最後に本大会の開催にあたりご支援、ご協力を賜りました町当局、各団体、事業所方々に末筆ながらゼミ会員一同、厚くお礼申しあげたい。

老人福祉大会に

六百名が参加



去る七月二十六日午前十時から広域体育館で第十三回五城目町老人福祉大会が六〇〇名の参加者を得て盛大に行われた。むし暑い夏のひとときを町内各地から出席した高令者は、はじめに佐藤勝太郎会長が「自分の健康にあった仕事をすることが長生きの秘けつである」とことを強調した。つづいて講師の小畑好子さんが南米旅行を通して現地に入植した一世の苦心談を披露された。このあと午後から芸能大会が行われ、各地区を代表する芸達者な方たちが会場をわんぱくに歌や踊りに熱狂した。

ゆとりのある充実した夏休みを

教育指導主事 神田 武



子供たちにとって楽しい夏休みに入りましたが、ご家庭の皆さんはどのようにに受け止めておられるでしょうか。子供とゆつくり触れ合っています。

休み中は学校を離れほとんど全面的に父兄の皆さんに委ねられますが、子供の主体性を尊重しながらも、家庭や地域の実態に則して助言すべきと思います。

例えば子供たちは休み中全体や一日の日課表を作り実行しますが、自分本位になります。

なことを述べますが、夏休み突入早々ながら厄介扱いにし、二学期が一日も早く始まってくれたらと学校を託児所的に利用される方なさを念じています。学校では休み中の生活指針として

- ・ 規律正しい生活
- ・ 健康で安全な生活
- ・ 生活設計をたて余暇の善用

などをあげています。先生方は

学習、家事分担、趣味、休養など調和がとれており、無理のない生活設計かどうかはもとより、保護者としての要望も話し合うべきでしょう。学習の時間帯に不意の来客があつて、親から仕事を言いつけられ勉強が中断されることがありますが、事情を考えて心よく協力するよう学校では指導します。反面親の方でもできるだけ配慮するなど、譲り合い協調の精神が望まれます。

戸外で遊ぶ子供の姿がめっきり見られなくなりました。どこに逃避したのでしょうか。おそらくテレビのとりこになつていたので、山野を走り廻つた懐しい思い出のある親が子には同じ道を歩ませません。事故と同居の戸外よりは、家に軟禁しておく方が安全かも知れません。

うるわしい自然に囲まれていないのもつたいない。

事故防止に万全を期しながら夏に鍛えさせて欲しい。夏は祭りや盆踊りなど地域の行事が多い。番楽や古い盆踊りが復活し、ふるさとを見直す気運が盛りあがりつつあります。

当町はそのような土壌に恵まれており、子供たちには積極的に参加させ、学校生活とは趣を異にする集団活動の中で多くのことを学び地縁関係の絆は固く結ばれ伝統文化の継承、郷土愛も培われよう。

保護下にある子供だけでは多くの制約があるが、保護者と一体の行動は新しい体験となり貴重な教訓ともなるでしょう。

最後になりましたが標題の「ゆとりのある充実した……」は教育活動の目指すものであり、あまね

く知られていることばであります
一見相反する語句のようだが味
わいがあります。親子ともどもゆ
とりのある充実した夏休みを過し
たいものです。

われる。

この研修会は、幼稚園、家庭、地域社会を通じて幼児期の教育の充実を図るため行うものである。これを契機に幼児教育に関する親の学習活動や地域活動をいっそう促進する。

- ・研修テーマ「幼稚園父母の相互協力活動のあり方について」
- ・分散の共通テーマ「家庭や地域における幼児の遊びについて」
- ・「家庭における父母の役割について」
- ・参加申込は八月十日まで幼稚園に申し込むこと

雀館運動公園の

「管理人」を募集

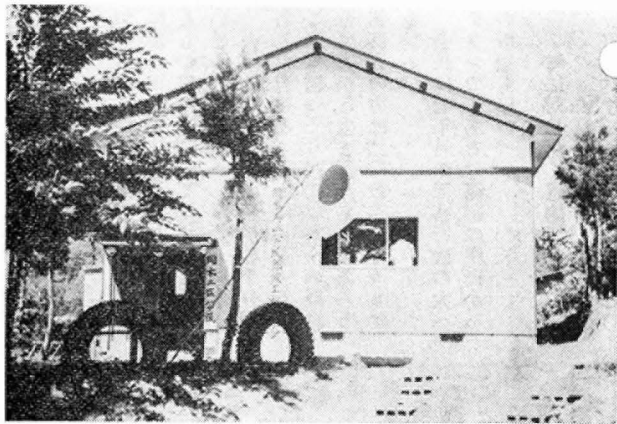
町では雀館運動公園事務局の主として「町民センター」「広域体育館」の管理人を募集しておりますので、希望者は左記によってお申しこみくださるようお願いしている。募集要領はつぎのとおり。

- ・募集人員 三名位
- ・勤務態様 二人宿泊勤務して交代で一人休む

勤務時間
午後四時三十分～午前八時三十分まで

履歷書、健康診斷

賃金及びその他詳細については面談の上決定したい。



高台に完成した岡本二区公民館

竣工式は町長をはじめ地元選出の町会議員などが参加した。千田区長は「二区住民にとって今日の日はすばらしい。長い間の夢を実現できてこんなにうれしいことはない。」

この場所は高台にあり見晴しがとてもよい。またこれまで寄り合い場がないたてめ、なかなか住民間の意志がうまく通わなかった。これから一人一人の結びつききのもでコミュニティづくりには役立つものと思う

町当局に対して深く感謝申し上げたい。」と述べ、今後の発展を誓い合つた。二区公民館の面積は延べ五〇坪に、集会室、調理室を兼ね備へたものである。これを建築するに当り旧大川中学校舎の音楽教室を譲り受け、自力で資金を出して完成したものである。

岡本二区に新しい公民館

去る七月二十六日午後一時半から、岡本二区（千田良治区長）で公民館の竣工式が盛大に行われた。日ざしが散々と降り注ぐ中、二区住民およそ五〇名が自分たちの新しいコミュニティをつくる場に集まった。

|| 消費者教室 ||

ガス器具部品の保有期間

石油ストーブや時計などは、以前から修理用部品の最低保有期間が決められ、アフターサービスもよく行われていましたが、ガス器具については、これまでのように

取り決めがなく、せっかく修理に出しても部品がないために修理を断われたなどの苦情が多かった。このため、四月からは、通産省の指導でガス器具についても、修理のための部品の最低保有期間が決められ、アフターサービスの万

全を図ることになった。

すが、この期間中はメーカーや販
売業者はいつでも修理に応じら
れ、また期間を過ぎた後でも修
理に応じられる手配をしておくこ
とが求められている。

- ・ガスレンジ 二口以上
- ・ガスこんろ グリル付
- ・ガスストーブ
- ・ガス温風暖房器
- ・ガス瞬間湯沸器 **（元止式
先止式
兼用）**
- ・ガス炊飯器 **（専
用）**
- ・ガスオーブン

六五七六七八六五六年
六五七六七八六五六年

六五六七六七六五五六年
年年年年年年年年年年

今後の稲作管理

病害虫防除を徹底的に

稲の生育概況

今年のは天候に恵まれ稲の生育も順調に経過している。草丈、茎数ともに平年を上まわる状況で昨年より七日、一昨年より一〜二日早目の生育である。また、一部で葉いもち病が発生しているの、もながれ病同様過期防除を怠ることなく実施してほしい。

病害虫の防除

山沿い、山間部のアキヒカリを中心に葉いもち病が、発生している。病害虫の発生次第に防除に努めていただきたい。また、もながれ病が平坦、山間とわず発生している。もながれ病は高温時に発生が多く、とくに畦畔きわや水尻周辺に発生が早く、多く

発生する。

また、防除は葉がよく根元まで散布するよう気をつけてほしい。なお、防除の際は落水してから実施するのが効果的である。とくに病害虫の発生は、稲の生育環境に大きく左右されやすいので、雑草刈取や用排水路の整備をしておくことが大切で、稲の生育環境の良化に努めてほしい。

水管理はキメ細かに

活力ある根の保持は穂首分化期から幼穂形成期にかけて、最後の出穂時期で、この根を登熟終了まで活力あるものにするため水管理が重要となる。とくに、穂ばらみ期は要水量が多いので、湛水状態の持続は根をいためたり徒長の原因になる。また、養分吸収のためにも根は健全でなければならぬので、ときどき落水して株ぎわを空気にさらすと同時に、新鮮な間断かん水高温時のかけ流しなどで、澱粉の消耗を少なくするようにしてほしい。出穂開花期の水分保持に努め、稲の一生で一番水を使うのはこの時期である。湛水が飽水状態を維持するよう努めていただきたい。昔から稲の花水の大切さがいわれているので十分水を与

えて登熟に支障のないよう管理していただきたい。

追肥減分期中心に

減分期の追肥は、過繁茂や倒伏が少なく、葉や茎を充実させ退化を防ぎ穀数を維持するが、追肥が多すぎると穂首いもちや枝梗いもちにかり易くなるので、稲の状態をみて一〇アル当り二キログラムを限度として行うようにしてほしい。幼穂の長さなどをみてから判断し、出穂十五日前頃が適期。

その他

今年には生育量も大きく、今までの努力を更に充実させ、豊作に結びつけたいものである。

この一人の子のために

金町民が目配り積極的な呼びかけをしよう

五城目町の児童生徒の健全な成長を願って、地道な指導援助活動が続いている団体の一つに五城目町児童生徒問題協議会があります。本協議会は、通称「学警連」と呼ばれ、町内の小・中・高校と五城目警察署とが協力提携して、児童生徒の非行や事故の防止に当たるための組織です。

本町の児童生徒の非行や事故の発生率が、他町村のそれに比べ、かなり低率にとどまっているのも学警連の成果と申せましょう。

しかし、ゼロというわけではありません。夏休みを中心として、予期しなかった非行や事故の発生を見ないとは限りません。

この際、全町民の方々に、かけがえないこの一人の子に目をく

ばつていただき、非行や事故につながる懸念のある行動や態度を目にしたら、直ちに注意を呼びかけ児童生徒の保護育成に、積極的に参画していただけたらとお願いしています。さしずめ、児童生徒問題協議会としては、次の諸点について、特段の協力を望んでいます。

- ①川、沼、池、貯木場、採石場、工事場など危険な場所での遊びの禁止と所有者、事業主の方々の安全管理体制の点検と整備。
- ②バイク、自転車の無法運転及び歩行ルール無視に対する指導、注意の強化。
- ③盆おどり等夜の催しに参加する児童生徒の節度保持。(各学校から指示されている参加時間の厳守を含む)
- ④不良行為、不健全行為に対する補導または、学校、警察への情報提供。

五城目町児童生徒指導問題協議会

戦没者の合同追悼式

～来る八月二十六日～

来る八月二十六日午後一時半から町民センターで五十二年度戦没者追悼式が行われる。

この町から戦争に出て亡くなった人は陸海空軍あわせて五三七七名ある。あのいまわしい太平洋戦争の傷跡は、永久に人々の脳裏から消えることはない。死んだ人、残された遺族のことを思えば再び銃を取る戦いは避けねばならない。追悼式は遺族の方々の出席のもとで戦争犠牲者の慰霊をなぐさめ恒久平和を願うものである。

なお、追悼式終了後、東北民謡歌謡団による歌や演奏があるので多数の参加をお待ちしている。

＝ 野 田 部 落 ＝

のどかな田園集落

町内部落探訪記シリーズ ①

今回から各町内部落を訪ねその地域における様々なでき事をつぶさに踏査してみた。その一回目として野田部落に焦点をあててみた。

この部落は、町のシンボル森山を背にのどかな田園地帯を形成している。水田面積がおよそ四十五ha、一戸当り約一・五haで他の地域に比べると多い。いわば純農村集落である。さて、早速、工藤部落長にお会いした。工藤さんは、大正生まれのことし五十九才で二人の可愛い



工藤部落長

早く川崎線を完成させる

町では本年度事業として野田川崎までの道路を五・五km、長さ二九一mを総工費四千万円をかけた完成させる予定である。これらの道路が完成すれば、まさに開かれた田園集落にふさわしいところとなり、住民のコミュニティの輪もこれまで以上に強められるだろうと期待されている。

五城目都市計画用途地域指定に伴う現地調査立入

お孫さんに囲まれながら稲づくりを精を出している。開口一番、ここの稲作についてたずねてみた。いまのところ大へん良好という。去年の冷涼気候の中から十分反省した自信あることばであった。これも稲づくり四〇年有余の経験と反省から生まれたものであろう。部落会の方は二〇数年のキャリアを誇る。

会長は七年目の部落行政の大ベテランでもある。部落の住民からの信望も厚い。

町に対し深く感謝

町 に対する希望はの間に對し、

二、調査員 五城目町役場 企画部整備課職員

療養給付費の支払い

三億五千万円を突破

医療費を節約しましょう

以前はお医者さんにかかろうとすると、まず自分で医療費の総額をその都度調達しなければならなかった。この医療費調達のためにいろいろな悲劇も生まれたわけでは医療保険が導入されたので医療の社会化が進み、病気になる前に医療費を保険税という形で前もって積立てておく、即ち医療費の前払方式となっている。

医療保険のなかった時代は、患者は、自分の調達した大切な医療費を最も有効に使用しようとしたから、お医者さんにかかるにも慎重であったものが、保険医療の今日では、三割を負担すればという気安さからと相互扶助のため積み立てたものを、受診しないと損をするという誤った考えをもたれたり、また逆にお医者さんざらで病気をこじらせて、長期間の療養を必要としなければならなくなるまで放置したりしてはいないでしょうか。

これはいづれも医療費のムダづか

印鑑登録申請を早く

(九月一日からは登録手数料が百円かかる)

去る六月一日から、新しく五城目町の印鑑条例が施行された。すでに五月一日号の町広報へ掲載したが、まだ登録申請されてない方は、八月三十一日まで忘れず申請ねがいたい。

②

いにつながっている。

病気が早期発見、早期治療が大切で、体の調子が悪いときはすぐお医者さんにかかり、同時にかかりつけのお医者さんに全信額を置くべきである。

神経の使いすぎから転々と病院をかえることは、かえってよくない結果が出る場合が多い。

増高する医療費をおさえ、いくらでも国保税を軽くするためにも一度振返って考えるべきではないだろうか。

◎年度別療養給付費支払状況

年度	金額(千円)	前年対比
41	五五、三五五	—%
42	七八、五六九	一四・五
43	一〇二、五六二	二〇・三
44	一〇九、二二一	六・五
45	一三〇、二〇五	一九・三
46	一三八、九五二	六・三
47	一八七、八五四	二五・九
48	一九四、一三八	三・五
49	二五七、一〇八	三三・三
50	三一九、九八八	四・四
51	三五一、一三〇	二・五

◎療養機関に支払った(七割分)もので昭和四十一年度五五、三五五千円であったものが昭和五十一年度では約六・三五倍の三五一、一三〇千円の支払いとなつています。

◎年度別受診状況(年度・回数)

41	二・九	47	四・六
42	三・二	48	四・六
43	三・六	49	四・九
44	三・八	50	五・二
45	四・〇	51	五・三
46	四・二		

昭和四十一年度では、被保険者一人年間二・九回お医者さんにかかっていたものが昭和五十一年度は約一・八三倍の五・三回となつています(延回数でない)

「平和な高崎村を」 「急がず静かに慎重に」 —高骨50年会—

足らない智慧と暇を出しあひながら、私たちの手で作った横断幕を村の中央にかかげました。

交通事故のおこらないように、そして加害者にも被害者にもならないように祈りながら——。

道路条件等にも危険のひそんでいることは見のがせないがその度に腹だたしく思う。わがもの顔でつづる車のかたわらで、善良な者たちはふるえながら生きてゆかねばならない不可思議な世の中である。社会の歯車が逆回転しているのかと思うときさもある。

そんな迷惑運転をするドライバーの目に私たちの願いの何分の一

でもいいから映って欲しい。薬の効能書き程度でいいから理解して欲しい。そんな祈りたい気持ちで横断幕をかかげた。横断幕には「課題」そのものを赤いペンキで書きこんだ。

私たちの高崎は平和で静かな村である。特別な刺激も変化も欲しいとは思わない。平凡でもいい、自分で納得のゆく生き方をしてこそ幸福と言えようと思う。マイペースで堅実に日々の営みに励んでいる高崎の村から、恐ろしい交通事故を無くしたいと心から願うものである。

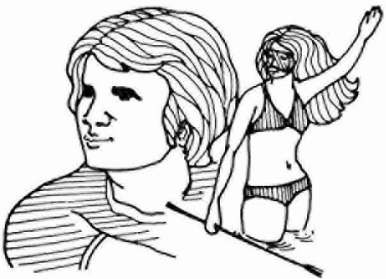
加えて欲張った希望をのべると発展を続ける五城目全町からもいたましい車の事故を無くしたい：そんな祈りをこめて私たちは横断幕を作った。

五城目町中高崎

昭和五十二年

新成人を祝う若人たちのつどい

来る八月十五日(月)午前十時から広域体育館で昭和五十二年五城目町新成人を祝う若人たちの



五城目町の石仏 ⑩

小川 元生

過疎の村石仏である。過疎化からいまでは部落ごと引越をし、この部落に人家はない。木造りの倉庫や土蔵や小屋が、ぼつんと歯の抜

けたように名残をとどめて、ものわびしい風景である。しかし土地への愛着は抜きれぬと見えて、近くの部落へ引越した人々はマイカーで畑にきて手入をしている。それがせめてものなぐさめである。



内川地区 大きさ 60×61×20

村外れにあった。お盆や彼岸などの行事以外に立寄ることもないだろう。草はのび放題で人の背丈ほどもあった。その中に童女形に彫られた如意輪観音像が一基かくれていた。附近に薄肉彫の観音像も二基あったが、この像は彫りも深く可憐さと共に印象づけるものをもっていた。無人の部落の中で風雨に耐えるこれらの長い年月が、瞬時に思い浮んだ。だからこの印象はなおさらだったかもしれない。

つどいが開かれる。

当日は日本レクリエーション協会の吉田事務局長を司会者に内川青年会のささら踊りなど盛りだくさんの行事を予定している。ほんとうにおめでとう。

図書室の開放と本の貸出し

町民センターでは図書室の開放と本の貸し出しをしている。図書室に、約三千冊ほどの書籍を用意した。みなさんのおいでをお待ちしている。

書籍の内容は

百科辞典、小中高生向学習書、現代小説、SL小説、探偵小説、随筆、詩集、ヨーロッパ文学、日本文学、児童文学、昔ばなし、料理、園芸、観光案内などである。開館時間は午前九時から午後四時までである。

夏休みにはいっている小中高大學生をはじめ、一般町民のどなたでも図書室を利用できる本の貸し出しもしている。おいでのの方は直接町民センター図書室の係にお申しねがいたい。

第26回 全県中学総体

体操個人総合で石井君堂々二位

去る七月二十六日から二十八日まで秋田市を会場に第二十六回全県中学総合体育大会が開かれた。大会は真夏の好天にめぐまれ、十一種目の競技で熱戦がくり広げられた。

本町からは五一中が五種目に出場した。まず男子体操の個人総合では、石井弘光君が堂々第二位に入り、来月開かれる東北大会に出場が決まった。期待されたバスケットは準決勝で全県一となった大森中に惜しくも敗れた。

各種目の成績はつぎのとおりである。

準々決勝

館岡	1—2	三浦
(五一中)		(大曲中)
斉藤	0—2	藤原
(五一中)		(土崎中)

▽男子バレー

一回戦	男鹿東中
五一中 2-1	
二回戦	
五一中 0-2	能代二中
▽剣道女子団体予選リーグ	
五一中 0-3	高清水中

県体野球一回戦

摩の一回表八点献上

く力およばず無念く

▽卓球男子個人	▽バスケットボール
石井弘光(五一中)二位	一回戦 五一中 59—38 山王中
・男子個人種目別	二回戦 五一中 84—80 琴丘中
石井弘光(五一中)	準決勝 五一中 55—58 大森中
床運動一位、鉄棒二位、跳箱二位	

一回戦	館岡 2—0	佐々木
(五一中)	齋藤 2—0	(東成瀬中)
(五一中)	二回戦	奥山
(仙一中)	館岡 2—0	(横手南中)
	(五一中)	佐々木
	齋藤 2—0	(本荘北中)
		佐藤
		(仙南中)

去る七月十六日午後一時三十分から、能代市営球場で行われた県体野球一回戦で、本町役場チームは、鷹巣クラブと戰つたが、一回表内外野エラーの連続で八点を献上し、結局実力を出し切れぬまま次のような成績で大敗した。

鷹	8
巢	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 —
五	0 0 0 0 0 1 0 0 0 0 0
役	— 1 8

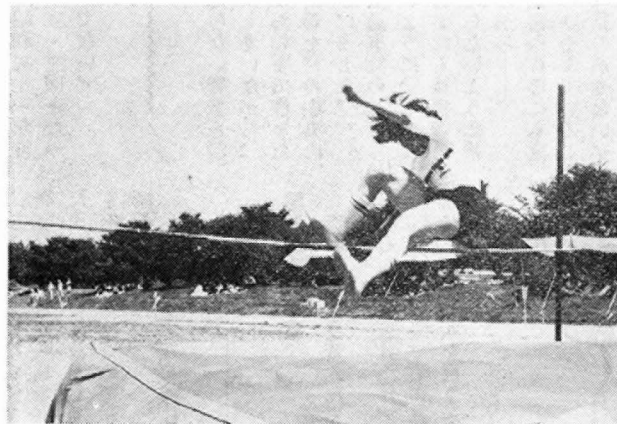
県体初参加の役場チームは、南秋予選、男鹿市との代表決定戦など上昇気運でのぞんだが、一回表なんでもない内野ゴロを三遊間、セカンドエラーで一・二塁、三番の二塁打で二点献上、四番の二塁打で三点目、打たせてとる戦法はこのごとくエラーに結びつき、浮き足だった原田投手の速球を、相手打者はリズムカルにねらい打ちし

てきた。アレヨアレヨという間に
五点、ここに加藤投手と交代する
が、調子に乗った相手チームはエ
ンタイトル二ベースで六点、打者
一巡、トップに二塁打され七点、
三番の内野ゴロがショート前でイ
レギュラーする間に八点となる。
二回以後ピタリとおさえ、五回

裏にようやく一点を取り返したが
時すでに遅く、悪夢のような魔の
一回表で試合は決った。このチー
ムの課題はやはり、コンスタント
に打てるチームになり、集中的に
点をとれるような力強さがほしい
投手に頼るチームカラーの脱皮が
急がれるところである。

第21回 五連青体育祭兼
第31回 秋田県青年体育祭予選会

女子走り高とびで大会新



1M33の大会新をマークした加藤選手のフォーム

去る七月二十四日午前九時半から五一中を主会場に第二十一回五城目町連合青年会体育祭兼第三十一回秋田県青年体育祭予選会が行われた。

夏の強い日ざしの中で二百名余の若人が各競技に熱戦をくり広げ総合では大川青年会が二連勝したとくに女子走り高とびでは、加藤選手が十年ぶりで、1m33の大会新をマークしたほか、各種目に好記録が出た。

全県大会での活躍が期待される以下、種目別の成績はつぎのとおりである。

二	一位 藤田真樹子 (五城目)	36 秒 6
二	石川幹子 (五城目)	36 秒 3
三	一位 島崎 功 (大川)	12 秒 4
二	二 小玉勇夫	12 秒 7
三	三 館岡 司 (馬川)	12 秒 8
●女子		
一位	小玉早苗 (大川)	16 秒 2
二	二 佐藤絹子 (内川)	16 秒 3
三	三 今野明子 (五城目)	16 秒 6
●男子二百m		
一位	原田芳博 (富津内)	25 秒 7
二	二 畠山光春 (森山)	29 秒 4
三	三 松田清悦 (内川)	30 秒 2
●女子		

三位 小玉早苗(大川) 39 3	二位 石川昭一(馬場目) 10 01
◎男子四百m	三 島井浩己(馬川) 9 54
一位 越高善和(馬場目) 1分0秒6	◎女子砲丸投
二 八柳善成(大川) 1分1 4	一位 加藤正子(大川) 8 M 19
三 加藤成雄(〃) 1分4 1	二 石井清子(内川) 7 71
◎八百m	三 藤田真樹子(五城目) 7 13
一位 伊藤道春(馬場目) 2分18 6	◎男子三段跳
二 猿田勝英(内川) 2分19 0	一位 畠山光春(森山) 10 M 73
三 加藤成雄(大川) 2分34 8	二 一関勇一(馬川) 10 41
◎五千m	三 伊藤和雄(富津内) 10 27
一位 石井五兵衛(馬場目)	◎男子三種競技
18分33秒1	一位 佐藤 政光(馬場目)
二位 笹川兼清(大川) 20 42 4	二 児玉 昭男(五城目)
三位 渡辺達夫(五城目) 20 58 8	三 石井幸一郎(内川)
◎女子四百mリレー	◎陸上総合
一位 内川 1分6秒2	一位 大川 二位 内川
二 五城目 1 7 2	三 馬場目 四位 五城目
三 大川 1 9 7	五 馬川 六位 富津内
◎男子八百mリレー	七 森山
一位 大川 1分50秒1	◎卓球(団体)
二 内川 1 54 8	一位 大川、二 森山、三 馬場目
三 馬場目 1 55 8	◎男子個人
◎男子スエーデンリレー	一位 館岡 信雄(五城目)
一位 馬場目 2分25 9	二 草階 礼幸(馬場目)
二 富津内 2 28 4	三 佐藤 善仁(大川)
三 大川 2 30 4	三 浅野 満(〃)
フィードの部	◎女子個人
◎男子走高跳	一位 佐藤カネ子(内川)
一位 猿田 利彦(馬川) 1 m 56	二 佐藤じゅん子(大川)
二 加藤 成夫(大川) 1 56	三 佐藤百合子(森山)
三 畑沢 文男(内川) 1 45	三 佐藤由美子(大川)
◎女子走高跳	◎相撲(団体)
一位 加藤正子(大川) 1 m 33	一位 馬川、二 馬場目、三 大川
二 石井清子(内川) 1 15	◎(個人)
二 石川幹子(五城目) 1 15	一位 佐藤 米吉(大川)
◎男子走巾跳	二 八柳 善隆(〃)
一位 原田 芳博 6 M 14	三 近野 司(馬場目)
二 千田 賢悦 5 39	◎綱引
三 藤田 薫 5 32	一位 馬場目、二 大川三 富津内
◎女子走巾跳	◎総合
一位 佐藤絹子(内川) 3 M 90	一位 大川 二 馬場目
二 金野明子(五城目) 3 60	三 内川、馬川
三 見上優子(馬場目) 3 35	五 森山 六 富津内
◎男子砲丸投	七 五城目

昭和52年度

新成人を祝う

若人たちのつどい
(成人式)

あなたに贈る青春のフェスティバル



とき 8月15日(月) 受付 午前8時～8時45分
つどい 午前10時～12時
ところ 広域体育館

※ 裏面をよくお読みください。

主催 五城目町 主管 五城目町教育委員会

「新成人を祝う若人たちのつどい」へのご案内

あたらしく成人になられますことをお喜び申し上げます。

若さを象徴する「太陽の季節」となりましたが、毎日、勉学、お仕事に精進されていることと思います。

りつぱに成長されたあなたの「はたち」の門出を祝い、社会人としてさらに活躍されることを願い、このたび下記により「新成人を祝う若人たちのつどい(成人式)」を開催することになりました。

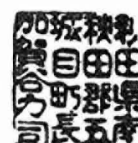
お暑い折ではございますが、ぜひ出席くださいますようご案内申し上げます。また、町民多数の出席をもお願い申し上げます。

記

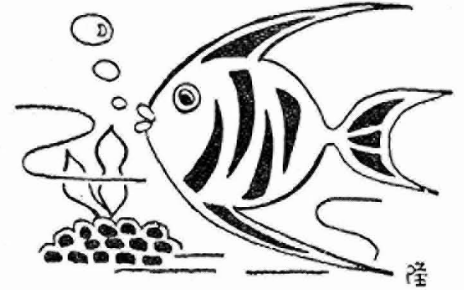
1. 期 日 昭和52年8月15日(月)
2. 時 間 受付 午前8時～8時45分
整 列 " 9時20分～9時45分
つどい " 10時～12時
3. 新成人該当者 昭和32年4月2日～昭和33年4月1日までに生まれた方で五城目町に住民登録している者
4. 会 場 広 域 体 育 館
5. 連絡事項 ①受付時間におくれないようにしておいでください。
②服装はできるだけ身軽なものがよいと思います。
③本町に住民登録をしていなくとも本町出身で町外に出ている方で出席希望される方は早めに申し出てください。 五城目町公民館(TEL018876-4411)へどうぞ
④ごめんでも各自上腹をご持参ください。

昭和52年8月1日

五城目町長 加賀谷 力 司



昭和52年度新成人 各位
町 民



おしらせ

第二回町ぐるみこみ大掃討作戦

河川 下川のいつせい清掃

このたび第二回町ぐるみ清掃を左記により実施いたしますから、よろしくご協力方お願い申し上げます。

- 一、期日 八月六日企業、官公署 八月七日町内、部落
- 二、時間 実施の時間運用については、町内、部落、団体に一任します。
- 三、実施要領

①各町内、部落の河川、用水路、堰等に散在する空き缶、ガラス、金属類の処理及び雑木、雑草の

戸籍シリーズV

戸籍手数料

戸籍簿本などの手数料を教えてください。

また、郵便で請求する場合には手数料を送る便利な方法があります。

戸籍の謄本、抄本は一通二〇〇円

かり払い。

②護岸、橋の附近のごみ処理

③下水、側溝の汚物あげと処理

④可燃物は焼却し、不燃物は適当な場所を選定し、穴を掘るなどして処理すること。

⑤捨て場のない本町部についての汚物あげは、乾燥の状況を見て二、三日後に町で収集いたします。その際、汚物は車の入れるところにまとめておき、積み込む際町内のご協力を願います。

なお大掃討作戦後の汚物あげについては収集いたしませんのでよろしくご協力願います。

四、その他

・雨天順延

・当日、民生部保健衛生課職員が各地区を巡回する予定です。

・環境美化実践へのご要望、ご意見は役場民生部保健衛生課(電話二一〇〇)へ。

※今回は河川を中心に清掃を実施いたしますから、河川地域町内部落のご協力をお願いします。

昭和五十二年

職業訓練指導員試験

◎試験を実施する職種

除籍の謄本、抄本は一通三〇〇円

戸籍、除籍の謄抄本などを郵便で請求される場合は、手数料を納めなければなりません。定額小為替は百円単位の送金に便利で手軽に利用できます。

なお、戸籍などの謄、抄本を請求する場合には、請求書に本籍、筆頭氏名を正しく書いてください。

洋裁科、自動車整備科、建築科板金科、木工科

◎受験資格

実務経験年数八年以上
なお、学歴、訓練校歴などにより短縮される。

◎試験期日

学科試験、実技試験ともに九月別途通知する。

◎受付期間 八月十六日(木)まで

◎申込場所 県職業訓練課

電話一八八六〇一七三三

秋田市山王四丁目一ノ一

◎その他

受験について不明な点は職業訓練課へ問いあわせねがいたい。

食中毒のシーズン

保健所で注意呼びかけ

例年夏になると食中毒が多発する。これは食中毒のバイ菌にとつて高温、多湿の好条件がそろうため、五城目保健所では八月一日から七日まで「食品衛生週間」を設けて、住民の健康管理に注意を呼びかけている。

これまでの発生数の六八％は七月から九月まで。原因は、①細菌性 ②農薬などの化学性、③毒キノコフグなどの自然毒によるものに大別されるが、その大部分は細菌によるものである。

食中毒菌の代表格は、腸炎ビブリオである。この菌は、近海に住んでいることから魚介類に多くイカ、タコ、アジなどの刺身、タタキなどを通して体内に入り、病状は胃がいれんのような激しい腹痛と下痢を起こす。新鮮な魚介類にも附着しているの生ものを避けるのがポイント。

ブドウ球菌は、人のおできや化のう創などに住み、食品中で増殖するときに毒素(エンテロトキシン)が原因である。この毒素は、通常の加熱では破壊されないのやっかいである。

家畜やネズミに住んでいるサルモネラ菌は、卵や食肉から家庭に持ち込まれる。発熱、下痢が特徴ですが、重症の場合は脳症状を呈して死亡することもあるのつぎのことに注意してほしい。

・清潔に食べものにバイ菌をつけない

①調理前、食事前とか用便後にはよく手を洗い新鮮で清潔な材料を使って調理する。

②きれいな調理場で、マナ板、包丁、食器や容器などは消毒して使用する。

③ハエ、ゴキブリ、ネズミなどを駆除し、周囲の環境を整備する

・迅速に廃棄しておかない

・バイ菌は食べ物の中で増殖し、条件がよければ四時間位で中毒量に達する。

①調理した食品は、なるべく早く食べる。

・冷却又は加熱に注意する

①冷蔵庫内は摄氏五度位に管理する。

②生ものはなるべく食べないよう

に、加熱処理して食べることに、加熱処理して食べることに。

※秋田県では宴会、会合等で出された料理は持ち帰らない運動を進めている。

老人ホームによせられた善意

・七月八日

果物、靴下、菓子
天王町婦人会追分支部
支部長 細谷カツエ

洗剤 ホワイトワンドフル 39円

東京都中央区

花王石けん株式会社

社長 丸田 芳郎

(つづき)

献血ありがとう

沢田石鈴子 8	今村 良子 初
小笠原信子 2	佐藤 祐治 14
猿田和香子 6	一関 勝巳 23
石川 茂直 21	齊藤 豊 2
小玉 レン 3	金野 実 17
八柳 博 13	佐々木 巧 15
小玉 誠一 初	伊藤 興武 28
京野孝之助 15	伊藤準一郎 10
小玉 正行 5	沢田石貞雄 11
武田 秀雄 7	加藤 久雄 24
加藤千代美 13	佐々木正男 9
大石 保初	高橋まち子 3
伊藤 吉雄 2	

飲んで運転することは絶対やめる



誕生おめでとう

ございます

新畑町 菅生 真澄	6、32
馬場町 金沢 吉起	6、26
弘八 町子	長男

おくりやみ申し上げます

・七月	
五日 原田長治郎	59 富田
五日 秋山興一郎	77 古川町
六日 館岡直之助	75 高崎
六日 笹川ヨシエ	54 下樋口
八日 坂谷マツエ	72 新畑町
十二日 坂谷市太郎	81 畑町
十五日 小林興一郎	51 大川
十六日 石川 ヒデ	73 杉沢
二十日 沢田石忠一	70 小川口
二十五日 熊谷岩太郎	68 岡本
二十六日 小武海キミエ	70 新畑町